

# いま!この一冊!



『家族セッション』

著/辻みゆき

講談社

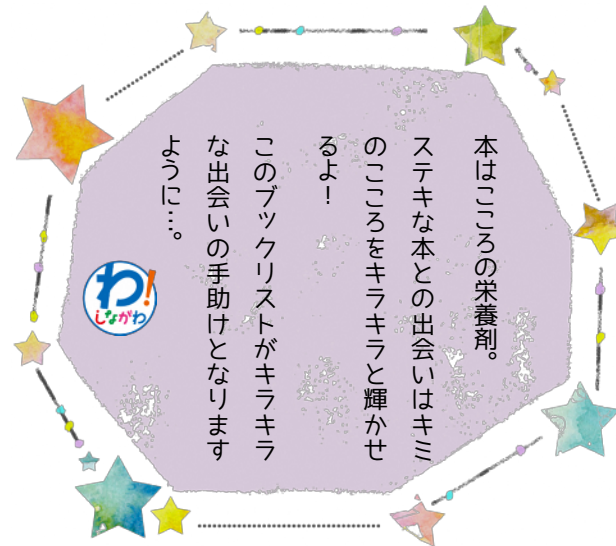
Y913/ツ

ごく一般的な家庭に育った千鈴、お嬢様育ちの姫乃、シングルファーザー家庭の菜種。中学に進学した春、この3人はそれぞれの親から「赤ちゃんのときにすり替えられていた」ことを明かされた。

親たちの主導で、お泊り会やホームステイがはじまっていく。そんな親たちの決定に反対するべく、3人はお互いに励ましあいながら立方向かうが…。

中学生になったばかりの少女たちは、すぐに受け入れることのできない事実に対して大きく心を揺さぶられます。そして、事実を受け入れられない3人は、お互いに協力し、感情をぶつけ合いながら、それぞれの心の深い部分について考えるようになっていきます。

これまで育ててくれた親やその家族と、自分を生んでくれた親やその家族。複数の演奏者がいっしょに音楽を奏でる「セッション」のように、家族の「セッション」は果たしてどのような結末を迎えるのでしょうか。家族について考えるきっかけとなることまちがいなしです。



## 図書館おすすめブックリスト



キラ

キミのこころに☆めぎを…

中学生



『グレイッシュ』

著/大島恵真

文研出版

Y913/オ

家族3人でいるのがなにより幸せだった中学2年のみゆる。でも、とうさんの仕事が無くなってから、家族がおかしくなっていた。とうさんはかあさんにあたり、かあさんはみゆるに無関心に。壊れかけた家族をもとに戻そうと、みゆるはひとり、おばあちゃんの家に向かう。

みゆるの成長を蝶になぞらえ、問題の解決へと大きく羽ばたいていく姿を描いた感動作です。難題に立方向かおうとする勇気を与えてくれるおすすめの一冊。

2022年冬号

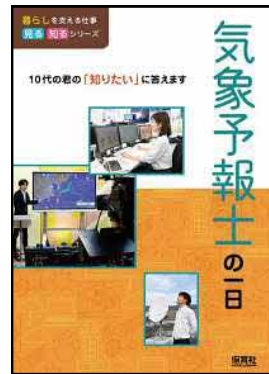
編集・発行：五反田図書館



『東京タワーに住む少年』 Y3/4

著/山口 理 絵/すずい 国土社

東京タワーのトップデッキのさらに上。そこには隠された研究室があって、小学生とは思えないレベルの科学オタク、田所健人が、家族代々の夢を実現し、真の意味で東京タワーを完成させるため“秘密の研究”に取り組んでいた。いったいどんな夢で、どうやって実現させるのか、果てしない夢を追いかけることで成長していく少年の姿を描く壮大なスケールの一冊。



『気象予報士の一日』 Y366/7

監修/WILLこども知育研究所 保育社

気象予報士と聞くと、テレビのキャスターをイメージする方が多いのでは？しかし、実際には、気象予報士という仕事は、さまざまな分野で働くことができます。この本を読めば、気象予報士になる方法や収入など、気象予報士にまつわる情報を入手することができます。将来の仕事について悩んでいらっしゃる方におすすめです。



『それでも、世界はよくなっている』 Y304/4

著/ラジミ・サデシロパング  
訳/神田由布子 垂紀書房

戦争、洪水、貧困…世界は恐ろしいニュースであふれているが、本当に悪いことだらけなのだろうか。

本書は、世界で刻一刻と変化している事実やニュースを検証し、世の中の良いニュースにスポットを当てた一冊です。世界の社会問題に興味のある方、世の中の批判だけではなく、良い点を再確認するべくぜひ一読を。



『「ヒロシマ消えたかぞく」のあしあと』 39//

著/指田和 ポプラ社

幸せだった6人家族の温かい日常を奪った戦争の悲惨さを伝えた絵本、『ヒロシマ消えたかぞく』。この絵本に登場する鈴木家の家族が生きたあしあとを追い、戦前、戦中、戦後の家族のありかたをはじめ、亡くなった家族や生き残った家族のすがたを描いた作品がこちらです。平和や命について問いかけるノンフィクション、世界で戦争が続いているいまだからこそぜひ。



『おにのまつり』 Y913/7

著/天川栄人 講談社

毎年夏に岡山で行われる祭り「うらじゃ」。コーチ役としてプロジェクトに参加することになった中学3年生の由良あさひは、校内の”問題児”として名高い4人の同級生たちを取りまとめることになってしまう。踊りを通して互いへの理解を深め、それぞれの抱える心の闇を乗り越えていく。個性の強い仲間との友情の行方はいかに？

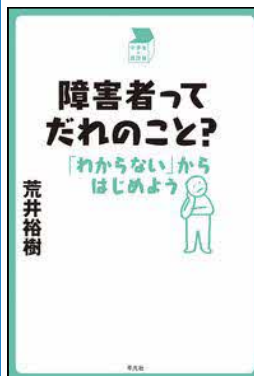


『18歳成人になる前に学ぶ 契約とお金の基本ルール』 Y365/4

契約とお金の基本ルール  
かしこい消費者になろう！

監修/公益財団法人消費者教育支援センター  
マンガ/さかなこうじ 旬報社

2022年4月、民法が改正され、成年年齢が18歳となりました。ティーンズであってもひとりの消費者として扱われることになったいまだからこそ、かしこい消費者となりましょう。本書では、契約やお金のルールについての基本的な知識を学ぶことができます。



『障害者ってだれのこと？「わからない」からはじめよう』 Y369/7

著/荒井裕樹 平凡社

日常的に使われる「障害者」という言葉。実は「障害とはなにか」や「障害者とはだれのことか」について、よくわかっていないのではないのでしょうか。そんな著者の問いかけから、「障害」について考察する一冊がこちらです。「わからない」からはじめて「障害者差別」などの問題についても考えはじめてみましょう。



『12歳から始めるあがらない技術』 Y141/ト

著/鳥谷朝代 秀和システム

人前で緊張すると、手が震えて声が出なくなり、頭が真っ白になってしまうという経験、だれもお持ちなのではないでしょうか。大切な発表会、校内イベント、人生を左右する受験といったさまざまなシチュエーションで人前で話す場がありますが、あがらない技術を習得することで、この大切な瞬間を乗り切ることができます。

今日からさっそく今日からはじめてみませんか？



『日向丘中学校カウンセラー室』 Y913/マ-2

十人十色、1匹？色の文化祭！

著/まはら三桃 装画/めばち アリス館

今日は日向丘中学校の文化祭。カウンセラーの綾さんも、カウンセラー室を開けて文化祭の様子を見学するつもりでいた。ところが、カウンセラー室を出ようとしたら、舞台上上がるのが怖いという相談者の学生がやってきて…。文化祭を通して相談に来る学生たちとカウンセラーの心温まるストーリー。